

「JENESYS2023」日中青年メディア交流代表団の記録

1. プログラム概要

【目的】中国の青年メディア関係者を訪日招聘し、日本の社会やメディアに関する訪問・交流、テーマ「日中関係におけるメディアの役割」に関する視察・交流を通じ、日本の青年や市民との親睦を図るほか、日中間の同分野の相互理解及び対日理解の一層の促進を図ることを目的として実施しました。

【参加者】中国のメディア関係者 計7名

【訪問地】東京都、千葉県、神奈川県、徳島県

■ プレプログラム 2024年3月6日（水） オンライン事前オリエンテーション

■ 招へいプログラム

2024年3月11日（月）～2024年3月17日（日）6泊7日

主な日程

日にち	概要
3月6日（水） プレプログラム	【オンライン事前オリエンテーション】 ①主催者代表挨拶 ②随行事務局紹介 ③訪日日程説明 ④注意事項説明 ⑤アンケート・対外発信・アクションプラン説明 ⑥質疑応答
3月11日（月）	来日
3月12日（火）	【懇談会】 読売新聞東京本社 訪問 ・若手記者と「世論形成におけるメディアの役割」について自由意見交換 【講義聴講】 公益財団法人日本サッカー協会 訪問 ・講義「Japan's WAYの方向性と育成」 ・質疑応答 【歓迎会】
3月13日（水）	【視察・交流】 東京学芸大学附属世田谷小学校 訪問 ・授業参観

	・教育課程についての説明 ・質疑応答 徳島県へ移動
3月14日（木）	【講義聴講・交流】 上勝町(株式会社いろどり、ゼロ・ウェイストセンター)視察 ・講義①「彩事業・葉っぱビジネスについて」 ・講義②「高齢化が進む日本！産業福祉について」 ・質疑応答 ・上勝町ゼロ・ウェイストセンター視察 ・いろどり農家訪問・交流
3月15日（金）	【懇談会】 徳島新聞社 訪問 ・若手記者との自由意見交換 【日本文化体験】 阿波おどり会館 阿波おどり体験 東京都へ移動
3月16日（土）	【視察・交流】 さぎぬまサッカークラブ 訪問 ・さぎぬまサッカークラブについて説明 ・質疑応答 ・練習風景の見学 浅草寺 参観 【歓送報告会】
3月17日（日）	帰国

2. 記録写真



2024年3月12日（火）
読売新聞東京本社 訪問



2024年3月12日（火）
（公財）日本サッカー協会 訪問



2024年3月12日（火）
歓迎会



2024年3月13日（水）
東京学芸大学附属世田谷小学校 訪問



2024年3月14日（木）
上勝町ゼロ・ウェイストセンター 訪問



2024年3月14日（木）
いろいろ農家 訪問



2024 年 3 月 15 日（金）

徳島新聞社 訪問



2024 年 3 月 15 日（金）

阿波おどり会館 日本文化体験



2024 年 3 月 16 日（土）

さぎぬまサッカークラブ 訪問



2024 年 3 月 16 日（土）

歓送報告会

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 日本は抱いていた印象よりはるかにリラックスしている印象でした。書籍や報道で読んだ日本は、努力、勤勉、秩序、上下関係を非常に重視する国で、目標を達成するために多大な努力をしなければならず、プレッシャーは非常に大きく、社会の柔軟性や新世代の活躍の余地はどちらも比較的小さいと感じていました。しかし、実際に日本を見たところ、日本人は想像以上にリラックスした状態で、これまでの固定観念はほとんど過去のものとなりました。バブル崩壊の影響はあらゆる面に及んでいるようですが、社会を混乱させないように丁寧に物事を進め、匠の精神を大切にしている伝統は今でも受け継がれており、そのバランス感覚はなんとも羨ましい限りです。

◆ 日本のジャーナリズム（全国メディア、地方メディアを含む）の現状について理解を深めることができました。中国と日本の困惑と課題について話し合い、大きく異なるところもありますが、総合的に言えば、日本の記者の報道の自由と純粋な専門的追求を羨ましく思いました。日本のスポーツ教育や小学校

教育に触れるのは初めての経験でしたが、日本人は教育において功利主義ではなく、純粋にスポーツや学習を楽しんでいる傾向があり、これは自分自身も含め中国に欠けている部分だと感じました。それは健全な人格を形成する上で重要な部分だと思いました。中国と日本の文化には多くの類似点がありますが、両社会が伝統的価値観を今日の程度保持しているかは大きく異なります。私は個人的に日本の細心の礼儀作法を賞賛していますが、例えば女性の社会的役割や、耐えなければならない道徳的制約など、中国では受け入れがたい考え方もあると感じています。

◆ 私が最も印象に残ったのは、今の若者は東京、横浜、名古屋などの大都市に発展の機会を求めているということです。大都市は地方の若者や資源を吸いあげており、地方の教育資源や医療資源は縮小している一方で、高齢者は地方に留まり、地方の衰退という課題に直面しています。こうした課題は中国でも同様です。徳島県上勝町で、地方の衰退を変えようとする努力を目の当たりにし、深い尊敬の念を抱きました。私は、中国の貧困脱却戦略として地元の発展に適した産業を見つけようと努力する農村改革者たちにも会いましたが、彼らも上勝町と同様に最初は村民から理解が得られず、誤解され、文化的慣習との衝突に直面していました。中国と日本には多くの違いがありますが、多くの類似点もあります。国民は社会が不十分であることを認識しており、自分たちの小さな努力で社会を良くしたいと願っています。これが両国に最も共通していることだと思います。

4. 受け入れ側の感想（抜粋）

◆ 意見交換では、特に日中のメディアの違いに焦点を当てた議論が交わされた。印象的だったのは、日本のメディアはいかに取材相手（権力者）に入り込んで情報を取るかに力を入れるが、中国では当局よりも事件関係者を通して取材を深めるという点だ。情報を最も多く持っているのが当局であることは間違いないが、やり方を誤れば癒着につながりかねない。取材の手法はどうあるべきかを改めて考えるいい機会になった。

◆ 意見交換に先立ち、弊社の現況を説明するとともに、社内を案内した。驚いたのは、彼女たちの「知りたい」という意欲だ。取材の手法や取材態勢など次から次へと質問があり、回答に対しても「それはなぜか」と突っ込んだ問いが投げかけられた。あまりの熱心さに時間がオーバーしてしまうほどだった。

◆ 中国と日本のメディアの違いが分かる有意義なものでした。事件報道の取材の仕方や、会社での働き方などに違いを感じました。中国では、記者が捜査当局と仲良くなることはほとんどないという事実に驚きました。意見交換会の後も、名刺交換した中国記者とメールで日中の違いに関して文通をしています。こうした良い出会いにも感謝しています。

◆ 自国のニュースが日本で、また徳島でどのように取り扱われているのかという質問があった。これまで、徳島新聞が国際ニュースをどのような観点で選び、掲載しているのかしっかりと考えたことはなかったのが、国際的な目線を意識する契機になった。また、仕事への姿勢や悩みなどには共感する部分も多く、場所が違っても同じ仕事に向き合っている同世代の女性として、とてもエンパワメントされた。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等



2024 年 3 月 15 日（微博）

終日、徳島県上勝町に滞在しました。上勝町は山奥に位置する人口 1,400 人にも満たない小さな町です。ここの高齢化率は 50% を超え、日本の平均高齢化率の 2 倍ですが、300 種類以上の植物の葉、花の枝を販売しているため、村全体の景観も良くなりました。中心人物の方は 30 年近くここに住んでおり、村民を率いて新たな生産の道を見つけました。彼はとても面白い人で、「若い頃の私は、すごく可愛いですよね？」と。午後、村で会った 87 歳のおばあちゃんは口紅も化粧も美しく、肌も全身の状態も良好でした。彼女の家でお喋りしたり、笑ったりしました。私も歳を取ったら、こんな楽しいおばあちゃんになれるといいな。



2024 年 3 月 16 日（微博）

同業者同士の交流が一番楽しかったです、一人一人が自分の理念や信念を持って真剣に取り組んでいます。私たちは異なる仕事経験や異なる社会的背景を持っていますが、つながりを心から感じることができます。また、とても可愛くてユーモアのあるおばあちゃんに会いました、87 歳で、私より肌が綺麗で、自分が使っている化粧品を友達に売っているそうです。彼女の健康と長生きを願っています。ありがとう JENESYS！

24-3-17 15:23 来自 iPhone 12 mini
发布于 北京

99
阅读

七天的旅程到此结束，非常开心。长久以来，日本对我来说都是一个有着模糊印象的国家，好像能通过共同的历史文化背景摸得着，但又不知道到底是什么样的。这次感谢 Jenesys 的安排，让我们能有机会与最熟悉其领域的人直接对话，尤其是当下，坦诚交流更为可贵。标签背后是每一个人的日常生活，生活里飘然而逝的简单的一分钟也需要庞大的社会体系支持，用更实在、开放的心态去认识对方，也是认识自己。

2023 年 3 月 17 日 （微博）

7 日間の行程が終わりました、とても楽しかったです。私にとって日本という国は、長い間漠然とした印象があり、共通する歴史的・文化的背景を通して触れられそうですが、どんな国なのかは分かっていませんでした。JENESYS のおかげで、各分野に精通した方々と直接お話をする機会が得られ、率直な交流がさらに価値を高めてくれました。レッテルの裏には、皆の日常生活があり、人生の一瞬一瞬が巨大な社会システムに支えられています。より嘘偽りのないオープンな心で相手を理解し、同時に自分自身を知ることにもなります。

日本之行结束，发个短的纪行。

回想了一下发现这是我第一次到真正的发达国家，总体上有一种沉静和专注的感觉，大概因为走到的地方大多不是旅游热门景点，对这一点感受尤其强烈。

小孩子确实感觉很少，在日本国内线机场甚至好像没遇到孩子。但少子化和老龄化已经成了普遍接受现实，也可以平静面对。

第三张是小学里的袋鼠雕像，第六张是很有特色的阿波舞，我这种土人喜欢德岛胜过东京.....

PS再也不相信日餐分量少了.....

JENESYS ! 2024 年 3 月 17 日 （Wechat）

日本での行程が終わりました。ここに短いメモを残します。振り返ってみると、私は本当の先進国に来たのは初めてだったことに気が付きましました。全体的には落ち着いて集中することができました。訪れた場所のほとんどが観光客向けの場所ではなかったからかもしれません。確かに子供は少なく、空港の国内線ではほとんど子供を見かけませんでした。少子高齢化は一般に受け入れられた現実であり、冷静に向き合うことができます。

PS 日本料理の量が少ないとはもう信じません

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表

【訪日中の学び】 日本メディアとの交流を通して、同じ信念を持ってメディアの仕事に取り組んでいると、とても共感できました。また、同じ悩みや課題を抱えていることを知りました。例えば、どう規制や困難を突破して取材するか、ジェンダーによる不公平とどう向き合うかなどです。総じて言えば、日本人が享受している自由と職業上の充実感をうらやましく思いました。 【テーマに関する訪日中の発表】 私が深く感動したのは、日本のサッカー教育についてです。ご存知のとおり、中国サッカーには多くの問題があり、中国人のサッカーに対する態度も非常に複雑です。さぎぬまサッカークラブ訪問では、練習試合に励むユースの見学を行いました。コーチへのインタビューで印象的だったのは、両親が熱くなり過ぎて子どもにサッカーの練習以外の機会を与えていないことがあると仰っていたことです。子どもたちがより豊かな人間性を育むためには、サッカーだけではなく他のスポーツに触れたり、家族旅行に行ったりと、様々な経験をした方が良いとおっしゃっていました。その考えにとっても共感し、それはサッカー教育だけではなく、教育そのものの意味でもあると感じました。 【アクション・プラン】 中国に帰国後、日本で感じたこと学んだことをまとめ、わが社の週刊誌で報道します、今回の収穫をより多くの読者に文字で伝えていきたいと思っています。	【訪日中の学び】 これまで中国の社会ニュースに関する報道だけ注目してきました。しかし、今回の交流を通じて、自分の視野が少し狭かったのかもしれないと気付かされました。制限された条件の中でも真実に近い記事を毎日書くことで、少しは変えていけるのではないかと感じました。表現を諦めないことは時代を超えた姿勢でもあります。 【テーマに関する訪日中の発表】 一番印象に残ったのは、徳島の葉っぱビジネスについての講義です。私は中国でもシルバー経済の話題に触れてきました。中国も日本と同様に深刻な高齢化問題に直面しているため、地元の公共福祉団体、NGO が高齢者専用の仕事を提供しており、誰もが自分の人生の価値を実現しています。世界各国が高齢化問題に直面する中、高齢者をいかに忘れ去らず、活力を取り戻すかは、高齢化社会に向かうすべての社会が考えなければならない課題だと思います。 【アクション・プラン】 中国に帰国後、この体験を文書とビデオの形で発信したいと思っています。特に日本のサッカー教育、環境保護、とシルバービジネスに関するテーマです。
--	---

実施団体名：イオンコンパス株式会社